

エコチル調査の進捗について

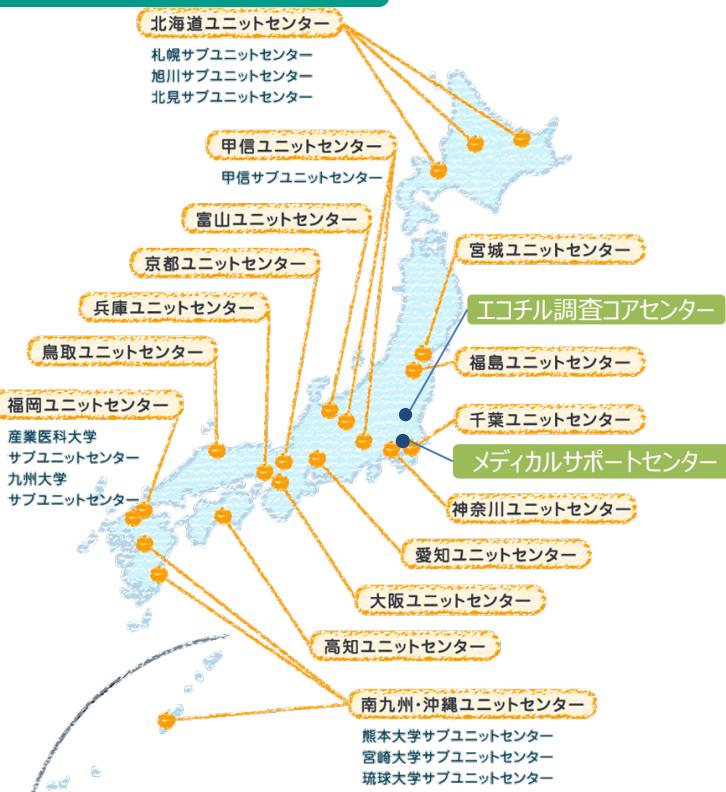
令和8年1月
化学物質安全課
環境リスク評価室

子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)の概要

調査の目的・概要

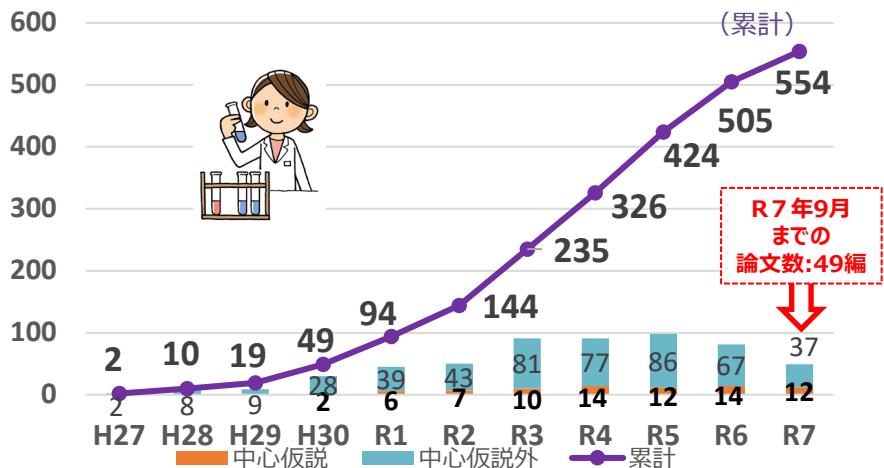
- エコチル調査の目的は、化学物質のばく露等が、胎児期から小児期にわたる子どもの健康にどのような影響を与えていたかを明らかにし、リスク管理当局や事業者への情報提供を通じて、適切なリスク管理体制の構築につなげることである。
 - 化学物質等の環境要因が健康に与える影響を解明するため、約10万組の親子を対象としたエコチル調査を2010年度から実施。現在でも高い参加率を維持。
 - 参加者の血液等の生体試料（約560万検体）を採取・保存・分析するとともに、質問票等による追跡調査を実施。
 - 開始時に策定した学童期（～12歳）までの基本計画を、「エコチル調査企画評価委員会」の議論※を踏まえて改定(令和5年3月30日公表)し、13歳以後の調査を継続中。※「健康と環境に関する疫学調査検討会」報告書(令和4年3月29日)を受けて議論
 - 18歳以降の調査について、エコチル調査第3次基本計画案を検討中。

エコチル調査実施体制



研究成果

- ・令和7年9月末時点までの全国データを用いた論文数は**554編**（中心仮説は**77編**）。
 - ・妊婦の化学物質等のばく露と、子どもの体格やアレルギー疾患等の健康影響との関連が明らかくなっている。



* 中心仮説：胎児期～小児期の化学物質ばく露等の環境要因が、妊娠・生殖・先天性形態異常・精神神経発達・免疫・アレルギー・代謝・内分泌系等に影響を与えているのではないか。

成果発表一覧

<https://www.env.go.jp/chemi/ceh/results/publications.html>

エコチル調査の成果の社会還元の例

食品安全委員会の評価書、妊婦や子どもの健康に関するガイドライン等の策定に貢献

●食品安全委員会 評価書

- 3件：「評価書 鉛（2021年6月）」
- 「評価書 アレルゲンを含む食品(卵)（2021年6月）」
- 「評価書 PFAS（2024年6月）」

●引用の具体例

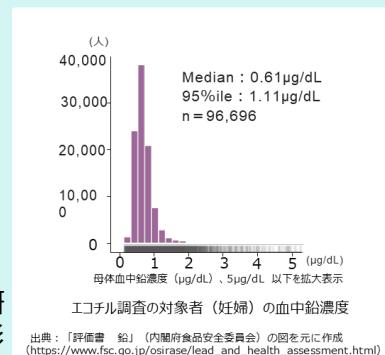
「評価書 鉛（2021年6月）」

II. 食品健康影響評価 1.ばく露 (2) 血中鉛濃度の概要

・我が国及び諸外国の血中鉛濃度の状況や、現在の我が国の血中鉛濃度の分布について解析結果が記載されている。

II. 食品健康影響評価 4.ヒトにおける影響(1)小児、(2)成人

・胎児の成長等への影響に関する研究結果、内分泌系／免疫系への影響に関する研究結果がエビデンスとして引用されている。



出典：「評価書 鉛」（内閣府食品安全委員会）の図を元に作成（https://www.fsc.go.jp/osirase/lead_and_health_assessment.html）

「評価書アレルゲンを含む食品(卵)（2021年6月）」

IV. 食品健康影響評価 2.有病割合及び自然経過

・母親の卵白特異的 IgE 抗体値の陽性率や、食物アレルギーの有病割合、食物アレルギーの生涯有病割合といった解析結果が記載されている。

●ガイドライン等

- 7件：「産婦人科診療ガイドライン 産科編2023」
- 「小児気管支喘息 治療・管理ガイドライン2023」
- 「ASQ-3乳幼児発達検査スクリーニング質問紙」
- 「食物アレルギー診療ガイドライン2021」
- 「食物アレルギーの診療手引き2020」
- 「アトピー性皮膚炎診療ガイドライン2021」
- 「アトピー性皮膚炎診療ガイドライン2024」

●引用の具体例

「小児気管支喘息 治療・管理ガイドライン」

第3章「疫学、発症の危険因子と一次、二次予防」

・日本国内の最新疫学データとして、喘息・喘鳴の有病率や危険因子の解析結果が記載されている。

・特に妊娠中の喫煙、住居環境などの環境要因が喘息発症リスクに関連するエビデンスとして引用。

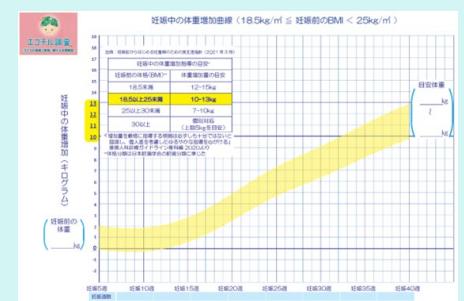
日本小児アレルギー学会作成、滝沢琢己、他監修。協和企画、2023.



「妊娠中の体重増加曲線（妊娠前BMI別） (2021年9月報道発表)」

妊娠（約10万人）の健診情報
を用いて妊娠前BMI別に4通り作成
(例) 妊娠前BMI18.5～25

出典：国立成育医療研究センター
ホームページプレスリリースより
(2021年9月28日)
<https://www.nccchd.go.jp/press/2021/210928.html>



エコチル調査全国フォーラム

全国フォーラムの開催



主催：環境省 後援：こども家庭庁 文部科学省 効力：(一財)日本書道美術院 (一社)現代歌人協会 (一社)全日本かるた協会
企画・運営：エコチル調査全国フォーラム実行委員会(株式会社 PCO 内)
〒930-0004 埼玉県川口市桜町4丁目2番2号 E-mail: eco-child@pcog.jp TEL: 076-461-7028

*メディアでも紹介されました。

子どもが育つ環境と健康との関連を調べた研究成果伝える催し | NHKニュース | URL:<https://news.web.nhk/newsweb/na/na-k10014965971000>

■第1回エコチル調査全国フォーラム

【日程】令和7年11月1日（土）、2日（日）

【会場】伊藤国際学術研究センター・山上会館

※東京大学 本郷キャンパス内

【目的】

- 全国規模のイベントを通じて、子ども達に「環境保健を知るための場」、「自己表現の場」、「様々な未来の可能性を知る場」を提供。
- 子ども達自らが、エコチル調査結果等を用いた研究発表を行なう事によって科学的思考を育む。
- エコチル調査に関するテーマの書道、かるた、短歌の公募を通して、「エコチル調査の意義」を国民に広める。

【主な対象】

- 小学生、中学生、高校生およびその保護者の世代

【他省庁・関連団体との連携】

- 後援：こども家庭庁、文部科学省
- 協力：(一財)日本書道美術院、(一社)現代歌人協会、(一社)日本かるた協会

【詳細】https://smartconf.jp/content/eco_child

【第1回全国フォーラムの主な内容】 ※「科学的思考を育む」場と、「子どもたちの自己表現」の場づくり

■基調講演

吉野彰氏（旭化成株式会社 名誉フェロー）による講演

■エコチル調査学術シンポジウム

エコチル調査に関する領域の研究者による講演

■エコチル調査研究発表会

小・中・高校生が環境と健康についての学習や研究の成果を学術大会スタイルで発表

タイムスケジュール

11/1	伊藤国際学術研究センター	山上会館	11/2	伊藤国際学術研究センター	山上会館
9:00			9:00		
10:00	エコチル調査かるた大会	かるた教室	10:00	口頭発表	ポスター発表・パネル展示
11:00	競技かるた大会	かるた教室	11:00	口頭発表	化学分析機器展示短歌展
12:00	競技かるた大会	かるた教室	12:00	ランジョンセミナー	書道展
13:00	基調講演	かるた教室	13:00	コアタイム	エコチル調査かるた展・かるた協会展
14:00	口頭発表	かるた教室	14:00	シンポジウム閉会式	エコチル調査かるた展・かるた協会展
15:00	パネル展示・化学分析機器展示短歌展	かるた教室	15:00	ポスター発表・パネル展示	エコチル調査かるた大会
16:00	コアタイム	かるた教室	16:00	競技かるた大会	かるた教室
17:00	競技かるた大会	かるた教室	17:00	競技かるた大会	かるた教室
18:00			18:00		

エコチル調査をテーマにした「書」「かるた」「短歌」を公募、展示。子どもたちが参加できる、かるた大会・教室を実施。



エコチル調査書道展

入賞作品は会場で展示するほか、公式サイトでオンライン展示も行います。



小倉百人一首競技かるた大会

個人戦・団体戦を行います。
また、エコチルかるた教室も開催します。



エコチル調査短歌展

エコチル調査をテーマに募集した短歌を展示。
選ばれた短歌は来年「十六人一首競技かるた大会」で使用されます。※順次、短歌を増やし、令和13年度の「エコチル調査百人一首」完成をめざします。



当日参加OK

エコチル調査かるた大会

エコチル調査にちなんだオリジナルかるたを募集。完成したかるたで大会を開催します。



エコチル調査かるた展

みなさんからご応募いただいたオリジナルかるたの中から、上位に選ばれた力作を会場で展示します。



エコチル調査研究発表

「環境と健康」をテーマに、本格的な学会スタイルで研究成果の発表を行います。
(口頭発表 14 演題 ポスター発表 38 演題)